

質問 町事業の内容や、町内事業者や各種団体の能力や魅力、取組みを広く町内外に周知・認識いただくためにも、また、緊急時に適時的確な情報が伝達できる

よゆうな、実効性の高い、組織的な改善点の必要性は。

町長 各部署が責任を持ち、情報を受信する人が興味を抱けるように、今後、研修などを通じてレベルアップを図る。

町長 新聞やテレビなどのマスコミも活用して情報を発信している。

問② 効果の検証は。 **町長** 具体的な数値などでの検証は行っていないが、テレビや新聞などのマスコミによる効果は高く、「さやま花多来里の郷」などの来場者数にも反映されていると思われる。

問③ 各種事業における情報発信への財政的な優先度は。 **町長** 国や都の補助金の活用、民間企業との連携が図れるかなどを検討した上で予算化している。

問④ 制度

町長 関係各部が連携を図り、事業の実施日や時間などが重ならないよう調整していく。

森 亘 議員 (自民新国会)

情報発信力を高められないか



町長 研修などを通じてレベルアップを図る



マスコミに取り上げられ、大変にぎわう「つるし飾り展」(耕心館)



近藤 浩 議員 (改革みずほの会)

より危険な「CV-22オスプレイ」の横田配備計画に明確な反対の取組みを

町長 安全・環境対策を国と米軍に求めていく

質問 「未亡人製造機」と言われ、危険で事故率も高いオスプレイの横田配備が発表された。CV-22は特殊作戦部隊仕様であり、輸送用の普天間配備のMV-22より、さらに危険である。人口密集地域での飛行訓練など米本国では考えられない。これまで町や議会や住民は基地被害軽減に向けて、様々な活動を続けてきたが、その努力を無にすべきではない。あらためてその危険性を認識し、他自治体と共に反対の取組みをすべきと考えるが。

町長 オスプレイのみならず、国の安全保障に関することは国の専管事項であり、日本の安全があってこそ町の安全がある。しかし、町民は常に航空機騒音や事故に対する懸念など、大きな不安を抱えている実情を訴え、横田基地に飛来する全ての航空機に対して、徹底的な安全対策と環境配慮と安全性を国や米軍に求めていくことが地方自治体の役割である。



町上空を飛行するオスプレイ



古宮 郁夫 議員 (自民新国会)

新庁舎建設に関わる、これまでに克服した課題と今後の計画について

町長 スピード感のある意思決定を行っていく

質問 24年の耐震診断により、庁舎一部が耐震性能不足と判明し、このため仮庁舎や課の移転等、住民サービスに影響を与えている。この事態の克服のために新庁舎建設は、早急に実施すべきと考える。建設敷地についても、立川断層や都市計画の上での検討を踏まえ、26年12月に現敷地が正式に決定されたと認識している。27年5月には新庁舎建設基本計画が策定された。そこで、これまでの行政努力と今後の計画・検討項目について問う。

町長 事務所移転と並行しながら、建設位置や費用などの検討を進めてきた。今後の予定は、最初に建設レイアウトなどを決定し、議

会や町民にお知らせした後、本格的な設計に入る予定。立川断層に関する国の調査内容では特に切迫した状況ではないが、首都圏直下型、東南海などの巨大地震に備えることが重要と考える。今後、専門家の最新の議論を参考に、町民参加を得ながら、スピード感のある意思決定を行っていく。



撤去した旧庁舎跡地に整備された来客者用駐車場

「みずほ まちなか会議」

を開催します

議員との対話集会

日程	時間	会場	テーマ	担当
11月18日(水)	19:00~	町民会館	地域コミュニティの活性化について	総務産業建設委員会委員
11月19日(木)	19:00~	第2会議室	子育て支援について	厚生文教委員会委員

総務産業建設委員会委員

森 亘 古宮 郁夫 近藤 浩 小川 龍美
高水 永雄 石川 修 原 隆夫 山崎 栄

厚生文教委員会委員

下野 義子 村上 嘉男 原 成兆 大坪 国広
小山 典男 齋藤 成宏 村山 正利 吉野 一夫

みなさまのご参加をお待ちしています。